

# 平成30年度事業報告

(自平成30年4月1日、至平成31年3月31日)

認定特定非営利活動法人 青少年の自立を支える会

## 1 事業の成果

自立援助ホーム「星の家」は、30年度を通しての平均入居者数は月当たり5.8人であった。年度内の新たな入居者は3名であり、実質9名に対して必要な支援を行った。そのうち4名が家庭に戻ったり、就職やアパートを借りて自立していった。中卒後就労経験を経ずに15、16歳で入居するもの、他の都県からの割愛で入居したものが目立った。就労が継続している者が少なかった。また、29年度、OGが子連れで駆け込んできてそのまま居候になったが、30年度も引き続き居候として支援を継続した。

近年、社会的養護の経験がないまま、また就労経験を経ずに入居に至る者が大半を占めるようになってきている。彼らは不適切な養育環境に長くありながら社会的養護の網から零れ落ち、重篤な虐待等家族関係の不調をベースに犯罪に巻き込まれたり精神疾患を有していたりしている。目的意識のないまま入居してくる子が増えており、彼らの自立までの道のりの困難さを改めて感じた。いずれにしても140名を超える退所者へのアフターケアには多大なエネルギーを費やさざるを得ない状況が続いている。

ファミリーホーム「はなの家」は、30年度を通しての平均入居者数は月当たり5.0人であった。年度内は入退居はなかった。年間を通して生活状況は安定していた。中学生が1名、高校生4名ということで、それぞれが様々な活動をしており、全員そろって食事を摂る機会が限られた。高校生には自立に備えてバイトをすることを奨励しているが、高校1年の2名は継続することが困難であった。また、宇都宮市のショートステイ事業や児相の一時委託保護で9名の子どもを短期間預かった。こうした地域の子育て支援については、問い合わせが増えてきており、ニーズへの対応を考えなければならない。

宇都宮市からの委託事業（要支援児童健全育成事業）の「月の家」であるが、20名15世帯であり、前年度から増加傾向にある。母子や父子世帯、生活保護受給世帯の子どもが利用しているが、子ども達の状態も、障害や被虐待、初外、不登校と様々な問題を抱え、どの家庭も社会的養護を必要とする子ども達ばかりであった。一人当たり週2回の利用とし、1回当たり約6名の利用があった。30年9月に清原地区にもう一つの居場所ができた。月の家の利用は、東部と南部に偏っていたが、東部については担ってもらうことになりそうで、送迎の負担の緩和につながることを期待したい。

栃木県より平成29、30年度と2か年で「子どもの居場所担い手育成事業」を受託した。専門研修を4回計115名が参加した。ネットワーク会議（全体会）を1回実施した。参加は43名だった。また子どもの居場所の周知啓発のためにリーフレットを6千部作成した。さらに「子どもの連絡協議会」を設立し、本会が事務局を担った。連絡協議会は3回開催され、県内の子どもの居場所の実態調査を行った。

収益事業としてチャリティーコンサートと星の家まつりが実施された。チャリティーコンサートは倉沢大樹さん中心にジャズコンサートを開催し、約100万円の純益を上げることができた。星の家まつりは初めて道の駅うつのみやろまんちっく村で実施した、約150万円の純利益を上げることができた。会員拡大を含む社会的養護の問題の啓発活動として、総会后中央地区研修会を実施し約50名が参加した。また虐待防止ネットワークとの共催で「第9回子どもの虐待をなくそう県民のつどい」を開催した。プレ学習会（とちぎ青少年センター）には61名が参加し、本番のつどいはみやのわホールで開催され147名が参加した。さらに会報を2回発行した。

## 2 事業に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係わる事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
1. 青少年の自立に関する相談・援助事業	とちぎユースアフターケア事業協同組合の傘下で活動	年4回	とちぎユースアフターケア事業協同組合	職員1名	社会的養護の対象者	0
2. 自立援助ホームの運営	自立援助ホーム「星の家」の運営 (児童自立生活援助事業)	通年	星の家	職員3名 非常勤1名	社会的養護の対象者	22,696
3. ファミリーホームの運営	ファミリーホーム「はなの家」の運営 (小規模居住型児童養育事業)	通年	はなの家	職員2名 非常勤2名	社会的養護の対象者	22,639
4. 居場所作り事業	要支援児童健全育成事業「月の家」の運営	通年～	月の家	職員1名 非常勤2名 アルバイト9名 ボランティア10名	社会的養護の対象者	13,473
	子どもの居場所担い手育成事業	通年～	月の家・とちぎ青少年センター 栃木県庁	非常勤2名	居場所の担い手を育成・支援	1,500
5. 機関誌・会報の発行	会報の発行	年2回 (8月・1月)	支える会	職員1名	会員及び支援者 1100名	8
6. 会員拡大のための事業	中央地区研修会	5月26日	とちぎ青少年センター	職員4名 ボランティア数名	県民参加者 50名	0
	②「子ども虐待をなくそう県民の集い」	11月18日	済生会宇都宮病院「みやのわ」ホール	職員3名 非常勤2名 ボランティア数十名	県民参加者 150名	0

(2) その他の事業 (収益事業)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	事業費の 金額 (千円)
バザー	第21回星の家まつり	10月21日	道の駅 うつのみや ろまんちっ く村	職員8名 ボランティア 133名	322
チャリティー コンサート	第20回青少年の自立を 支える会コンサート	3月10日	宇都宮市文化 会館	職員9名 ボランティア 80名	1,012